

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立佃西小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

学習意欲は高いものの、それが学力調査の結果に完全には結びついていない点が今後の課題です。次年度は ICT を「道具」としてより深化させ、不登校対応を「組織」として強化することで、誰一人取り残さない学校づくりを推進します。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

令和 1 1 年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する児童の割合を 8 8 ポイント以上にする。

令和 1 1 年度の小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する児童の割合を 9 5 ポイント以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

令和 1 1 年度の小学校学力学習経年調査の平均正答率を令和 7 年度より 4 ポイント増加させる。

令和 1 1 年度の校内アンケートで「学習時間に友達と話し合うことで、自分の考えを深めることができましたか」の項目への肯定的な回答を 8 8 ポイント以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

令和 1 1 年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する児童の割合を 7 8 ポイント以上にする。

【その他】

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- ・いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っています」と回答する教員の割合を90%以上にする。
- ・不登校について、関係諸機関と連携しながら組織的に対応し、心の居場所づくりや安心して通学できる学級づくりなど、不登校児童に対するきめ細かな対応に努める。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・経年調査における、国語の平均正当率の対全国比をいずれの学年も同一母集団において経年的に比較し前年度より0.03ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」(R7年度48.5%)に対して、肯定的に「思う」と回答する児童の割合を49%以上にする。
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。(R7年度63.5%)
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「1週間の総運動時間」が60分未満の児童の割合(R7年度11.9%)を15%以下にする。

【学びを支える教育環境の充実】

【ICTの活用に関する目標】

- ・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を75%以上にする。

【教職員の働き方改革に関する目標】

- ・教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。(R7年度3月度で平均約17時間)
- ・本市調査における、「学校図書館貸出冊数(児童1人当たりの年間貸出冊数)」を36冊以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式例 2)

大阪市立 佃西小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 86% 以上にする。・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。・ いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っています」と回答する教員の割合を 90% 以上にする。・ 不登校について、関係諸機関と連携しながら組織的に対応し、心の居場所づくりや安心して通学できる学級づくりなど、不登校児童に対するきめ細かな対応に努める。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1、安心・安全な教育環境の実現】</p> <p>「School 10」「Home 10」の取組みを通して、学校と家庭が一体となって児童の規範意識を向上させ、規律ある生活習慣を身につけさせる。</p> <p>指標</p> <p>学校アンケート（がんばっていることがらアンケート）できまりを守っている児童の割合を 85% 以上にする。</p> <p>学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95% 以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 1、安心・安全な教育環境の実現】</p> <p>道徳教育・人権教育の推進。個々のケースを踏まえ、心の居場所づくりや安心して通学できる学級づくりをつとめ、指導力の向上を図る。</p> <p>指標</p> <p>学校アンケート（がんばっていることがらアンケート）の「自分には良いところがあると思いますか」への肯定的な回答を昨年度比で向上させ、80% 以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 1、安心・安全な教育環境の実現】</p> <p>体験学習や校外学習を充実させ、キャリア教育や多文化共生教育を行う。</p> <p>指標</p> <p>幼少連携や出前授業などの充実を図る取り組みに努め、児童のふり返りアンケートで「将来の夢や目標をもっていますか」への肯定的な回答を 75% 以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>学校行事や児童集会、縦割り班活動での取り組みを通して、自尊感情を高め、互いに励まし高めあう集団をつくる。</p>	

指標 学校アンケート（がんばっていることがらアンケート）の「縦わり班活動でちがう学年の人と楽しく活動していますか」に対する肯定的な回答を90ポイント以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式例2)

大阪市立 佃西小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経年調査における、国語の平均正当率の対全国比をいずれの学年も同一母集団において経年的に比較し前年度より0.03ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」(R7年度48.5%)に対して、肯定的に「思う」と回答する児童の割合を49%以上にする。 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。(R7年度63.5%) ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「1週間の総運動時間」が60分未満の児童の割合(R7年度11.9%)を15%以下にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標
取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 TSUKUNISHIスタンダードを全教員が実践することで、どのクラスも質の高い授業を行うことができるようにする。
指標 学校アンケート（がんばっていることがらアンケート）において、「学習内容がわかるまで、じっくりと取り組むことができていますか」に対する肯定的な回答を88%以上にする。
取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 「主体的な学び」「対話的な学び」を中心とした授業を行い、相手の考えを取り入れる

ことで自分の考えを深めることができる学びの姿勢を育てる。

指標

学校アンケート（がんばっていることからアンケート）において、「学習時間に友達と話し合う（交流する）ことで、自分の考えを広めたり深めたりすることができましたか。」に対する肯定的な回答を82%以上にする。

取組内容③【基本的な方向5、体力・運動能力のための取組の推進】

体力の向上は、子どもが豊かな人間性や自ら学び考える力といった「生きる力」を身に付ける上で重要である。規則正しい生活習慣を身につけながら、健やかな体づくりの育成に努める。

指標

学校アンケート（がんばっていることからアンケート）において、「外遊びや運動をしていますか」に対する肯定的な回答を75%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式例 2)

大阪府立 佃西小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>【ICTの活用に関する目標】</p> <ul style="list-style-type: none">・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 75%以上にする。 <p>【教職員の働き方改革に関する目標】</p> <ul style="list-style-type: none">・教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。(R7 年度 3 月度で平均約 17 時間)・本市調査における、「学校図書館貸出冊数 (児童 1 人当たりの年間貸出冊数)」を 36 冊以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6、教育 DX の推進】</p> <p>朝の学習時間にタブレットを活用し、自主的にデジタルドリル等の学習に取り組むように指導する。児童の活用状況や学習進捗を教員が把握し児童への支援を行う。オンライン学習をいつでも実施できるように全学年での学習環境を整える。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>デジタル教材を活用した学習を週 3 回以上実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>時間外勤務時間を昨年度平均より減少させる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>毎月設定されている「ゆとりの日」のうちの一回を 17 時退勤の日とし、全教職員が実践する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 8、生涯学習の支援】</p> <p>学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>学校アンケート (がんばっていることがらアンケート) において「自分で読みたい本を見つけて、本を読むことができましたか。」に対する肯定的な回答を 70%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式例3)

令和8年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 佃西小学校 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--